



# 清新二中だより

## 本校教育目標

- 1 豊かな心で、互いに敬愛できる人（敬愛）
- 2 進んで学び、深く考える人（知性）
- 3 健康で明るく、自ら鍛える人（健康）
- 4 責任を重んじ、勤労を尊ぶ人（責任）
- 5 礼儀を重んじ、他とよい関係を築く人（礼

## 「開校記念日」

校長 西原 大

先日、1学期最大の行事である運動会を、無事に終えることができました。当日生徒たちはそれぞれの競技に真剣に取り組み、クラスや学年を超えた仲間との絆を深めながら、全力で臨んでいました。応援や係の仕事なども含め、一人ひとりが自分の役割を果たそうと努力する姿が大変印象的でした。行事を通じて、多くの生徒が達成感や充実感を得られたようで、自己肯定感も高まっている様子が見受けられました。この経験が、今後の学校生活や学習への自信や意欲につながってくれればと願っております。

さて、6月は気温の変化が激しく、また梅雨の影響で湿度も高くなることから、体調を崩しやすい時期でもあります。学校では、適切な換気や水分補給の声かけ、定期的な休憩の確保など、生徒の体調管理に十分配慮しながら、日々の教育活動を行っております。ご家庭でも、朝の健康観察や必要に応じた衣服の調節など、ご協力をお願いいたします。今後も、生徒たちが心身ともに健康で学校生活を送れるよう、保護者の皆様と連携し、支え合ってまいりたいと考えております。

また、6月下旬には定期テストが予定されています。特に1年生にとっては、中学校に入学して初めての「定期テスト」となります。不安を感じている生徒もいるかと思いますが、日々の授業や課題を大切にしながら、計画的に準備できるよう、教職員がしっかりとサポートしてまいります。ご家庭でも、生活リズムを整えたり、学習の様子を見守っていただいたりと、引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

そして、今月10日(火)は「開校記念日」として校内の祝日となっております。この機会に、本校の沿革について少しご紹介させていただきます。本校は昭和62年4月1日、清新地区で2校目の中学校として開校いたしました。開校当時、正門近くには大きな榊(けやき)の木が立ち、地域の方々や生徒たちにとって象徴的な存在となっていました。その榊をモチーフにしたのが、現在の校章です。校章には榊の三葉があらわれており、「自然を愛し、人格の完成を目指し、真・善・美の調和のとれた人間を育てる」という教育理念が込められています。開校当初は1・2年生のみが在籍しており、3年生はおりませんでした。現在の3年生が着用している制服は、実はその当時から続いているもので、今年度の3年生がこの制服を着る最後の世代となります。第1回の卒業式は翌年の昭和63年3月に行われました。当時の卒業アルバムには、転出前の清新一中の制服を着用している生徒の姿も写っており、今とは少し違う、学校の始まりの雰囲気が感じられる貴重な記録となっています。

今年度で本校は開校39年目を迎えます。これまでの歴史を大切に受け継ぎながら、これからも生徒一人ひとりが榊の木のように、たくましく、しなやかに、そして力強く成長していけるよう、学校全体で支えて参ります。

